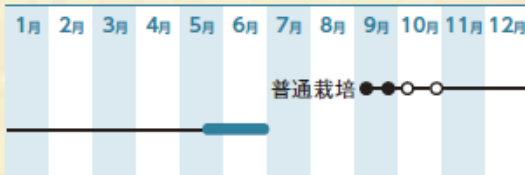




品種例
・もみじ3号
・はりま王 など

栽培カレンダー



●親株植えつけ ○植えつけ ■収穫

タマネギ

栽培のポイント

①冬までに根張りをよくする

できるだけ苗が直立するよう、深さ2cmほどに植えつけ、株元の土を締めおきます。冬までに根張りをよくするため、元肥にリン酸成分を多めに施しましょう。

②追肥のタイミングを逃さない

最終追肥の時期がずれると、玉の肥大成熟が遅れて貯蔵性が悪くなります。早生品種は2月中旬、晩生品種は3月上旬までに追肥を終わらせましょう。

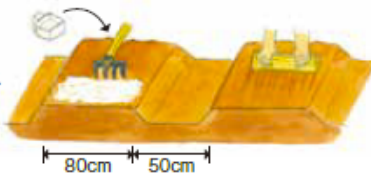
③収穫

全体の約8割が倒伏した頃に引き抜き、畝の上で乾燥させましょう。3~5日たって茎葉がおおむね乾いたら、風通しのよい所で貯蔵します。

1 苗づくり

[1] あらかじめ石灰、化成肥料を畑全面にまいて、耕しておく
(1㎡あたり)

石灰: 大さじ5杯
化成肥料: 大さじ5杯



水はけがよくなるよう中央部をやや高くし、板切れなどで表面をきれいにします

[2] 1 ~ 1.2cm四方に1粒の割合で種をまき、種が見えなくなるまでふるいで均一に土をかける。板切れで鎮圧し、その上に薄く草木灰をかける

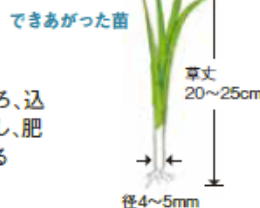
[3] 砕いた完熟堆肥を草木灰が見えなくなるまでかけ、雨風よけの稲わらまたはバタ掛け用の資材を敷く

苗床での追肥

(1㎡あたり)

化成肥料: 大さじ2杯

草丈6 ~ 7cmのころと10cm内外のころ、込み入っているところを間引いてから追肥し、肥料が見えなくなるまでふるいで土入れする



2 元肥入れ

堆肥は特に完熟したものを用いる。未熟なものなら入れない方がよい

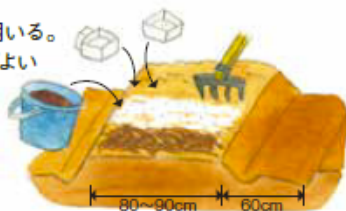
【ベッド植えの場合】

(1㎡あたり)

完熟堆肥: 4 ~ 5握り

化成肥料: 大さじ5杯

過リン酸石灰: 大さじ5杯



←北(西) 南(東)→

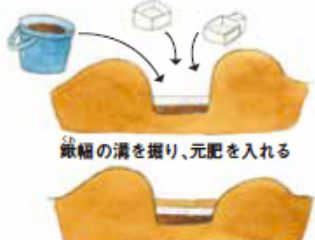
【条植えの場合】

(1㎡あたり)

完熟堆肥: 少量

化成肥料: 大さじ2杯

過リン酸石灰: 大さじ2杯

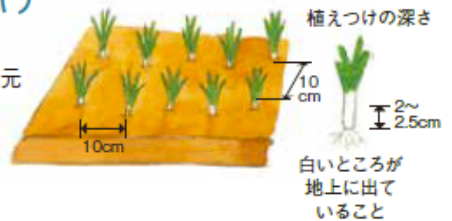


北(西)側の山は崩さない。肥料が直接根に触れないように5cmくらい土をかける

3 植えつけ

【ベッド植えの場合】

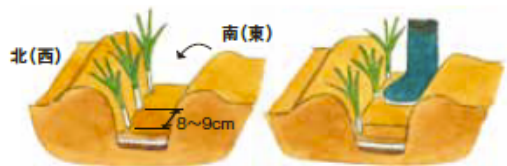
指先で押し込んで、株元の土を締めしておく



【条植えの場合】

できるだけ直立に近づけて根が下方に入るように植える

苗を配置後土をかけ、足で株元を踏みつけて、根を土になじませる



4 追肥

【ベッド植えの場合】

(1㎡あたり)

化成肥料: 大さじ3杯

株間に肥料を施し、竹棒などで軽く土に混ぜ込んでおく

【条植えの場合】

(列の長さ1mあたり)

化成肥料: 大さじ2杯 (1 ~ 2回とも同じ)

第1回 12月中・下旬 第2回 3月上旬

列に沿って鍬で軽く溝をつくり、肥料を施して土をかぶせておく

5 収穫

全株の約8割が倒伏したころ、天気の良い日を見計らって全部引き抜く

